

縄文の風吹く丘

		B.C. 9,000		B.C. 3,000		B.C. 1,000		A.D. 300		A.D. 800		
		B.C. 13,000	B.C. 5,000		B.C. 2,000		B.C. 300	A.D. 600		A.D. 1,200		
日本	旧石器時代	縄文時代						弥生時代	古墳時代	飛鳥時代	平安時代	鎌倉時代
		草創期	早期	前期	中期	後期	晩期					
北海道	旧石器時代	縄文時代						続縄文文化	縄文文化		アイヌ文化圏	
		草創期	早期	前期	中期	後期	晩期		オホーツク文化	トドナイ文化		



縄文時代の気候変化と縄文人の環境適応を示す貝塚

北海道南部の噴火湾（内浦湾）東岸は、道内有数の貝塚分布地帯として知られています。その中でも洞爺湖町の入江・高砂貝塚（『開発こうほう』11月号に掲載予定です）と並ぶ最大級の貝塚遺跡が伊達市の史跡北黄金貝塚です。

北黄金貝塚は約6,000年前の縄文時代前期に営まれた集落の跡で、これまでの調査によって低地部を挟んだ二つの台地上に5カ所の貝塚と住居址、墓、盛土遺構などが見つかっています。

5カ所の貝塚の位置や出土する貝類や動物の種類の変化から、縄文時代に生じた気候の変化（温暖期からの気温低下）と、それに伴う海岸線の移動の様子が明らかになりました。

温暖な時期につくられた貝塚は、現在の海岸線から離れた丘の高い場所にあり、その中から温暖な海に棲息するハマグリが多数出土します。それから徐々に寒くなり、海が丘から離れていくと、縄文人は海に近い丘の先端に住居と貝塚を移しました。寒くなってからつくられた貝塚からは、マガキやアサリ、ウニなどと共にオットセイの骨が多数出土します。

北黄金貝塚は、海岸の様子や棲息する生き物などが変化する中で、縄文人が環境に適応しながら暮らし続けたことを示す遺跡なのです。

すべてのものに感謝する縄文人の「心」を示す遺跡

北黄金貝塚では、さらに興味深いことも知ることができます。それは、縄文人の「心」です。

私が発掘調査を行ったC地点貝塚では、貝塚の一番下から、角がついた状態のエゾシカの頭骨を大型の土器片でサンドウィッチ状に挟み、その周囲に円礫を配置してベンガラ（赤色顔料）を振り撒くという動物儀礼の跡が見つかりました。貝塚というゴミ捨て場というイメージがありますが、縄文人にとっては、命の糧になった動物への感謝と祈りを捧げる場でもあったのでしよう。

また、「A」地点貝塚の中や下からは、丁寧に葬られた人の墓が見つかっています。貝殻や動物の骨と同じ場所に人間の墓がつくられたということから、貝塚が「すべての生き物の墓」と捉えられていたと考えられます。



「水場の祭祀場」調査風景



貝塚と同じ場所につくられた墓

—北黄金貝塚—

永谷 幸人 (ながや ゆきひと)

伊達市教育委員会・伊達市噴火湾文化研究所学芸員

1983年愛知県生まれ。2012年に伊達市埋蔵文化財専門委員として史跡北黄金貝塚の発掘調査を担当。

以来、道内の貝塚などの調査に携わる。17年北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課。19年から現職。

さらに、北黄金の縄文人が感謝を捧げたのは生き物に対してだけではなくったようです。

遺跡のほぼ中央部に位置する湧水点近くの水場で見つかったのは、石の道具の墓とも言うべき遺構でした。「水場の祭祀場」と呼ばれるその場所からは、1,209点ものすり石や石皿などの礫石器が見つっています。そのほとんどが壊れた状態でした。北黄金の縄文人たちは、役目を終えた石の道具をわざと水場で壊したり裏返したりして通常ではない状態にしたうえで、底を打ち抜いた土器や刻みを付けた特別な石を供えるなどの儀式を行い、道具への感謝を捧げたと考えられています。こうした行為が水場で行われたのは、水が生まれる神聖な場所であることと、材料となる石が採れる「道具の生まれた場所」だったからかもしれません。

すべてのものに命を認め、感謝や再生の祈りを捧げたのであろう縄文人の「心」に触れることができることも、北黄金貝塚の大きな特徴です。

縄文の風吹く丘に立って

現在、北黄金貝塚の一部は「史跡北黄金貝塚公園[※]」として公開されています。史跡公園では、復元した2カ所の貝塚と^{たてあな}竪穴住居3棟だけでなく、発掘調査で検出された状態のままの「水場の祭祀場」の露出展示などを見ることができます。

市民とともに育てた「縄文の森」には落葉広葉樹が茂り四季折々の草花や動物を見ることができますし、低地の湧水点からは6,000年前から変わらず小川が流れています。また、貝塚のある丘の上からは、噴火湾が一望できます。

ぜひ、爽やかな風が吹く北黄金の丘に立ち、縄文人の心に触れてみてください。

※ 史跡北黄金貝塚（北黄金貝塚情報センター併設）

住 所：伊達市北黄金町75

電 話：0142-24-2122（FAX兼）

入館料：無料

時 間：9～17時（12月～3月休館。それ以外は無休）



北黄金貝塚公園 丘の上の白い部分が復元貝塚。写真中央左端に湧水点がある